

2022年9月11日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第65巻第22号(通算3304号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま ひと とも
神様がすべての人と共に
ことを証ししていく教会 きょうかい



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)



せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節
だい しゅじつれいはい
第15主日礼拝

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしょうめつ
前奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 62編 11-13a節

さんびか ばん しょみんぞく しょこく せかい しゅ
賛美歌 21-562番「諸民族、諸国、世界の主よ」(©JASRAC)

せいしょ しのと てがみ しょう せつ しょう せつ
聖書 コリントの信徒への手紙 I 12章 31節-13章 13節

いの
お祈り

さんびか ばん てんし
賛美歌 21-201番「天使のことばも」(©JASRAC)

メッセージ 「人と人をつなぐもの」 うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんびか ばん あい かみ きょうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-454番「愛する神にのみ」(©教団讃美歌委員会)

しゅいの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物 (*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく しょう せつ
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん ちよさくけんしょうめつ
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほうこく ページ さんしょう
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 62編 11-13a節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹¹暴力に頼るな。

略奪に空しい望みを置くな。

富が増えても、心を奪われるな。

¹²一つのことを神は語り

二つのことを私は聞いた。

力は神のもとにある、と。

¹³わが主よ、^{いづく}慈しみはあなたのもとにあります。

聖書 コリントの信徒への手紙 I 12:31-13:13 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

^{12:31}そこで、私は、最も優れた道をあなたがたに示しましょう。

^{13:1}たとえ、人々の^{いげん}異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、私は騒がしいどら、やかましいシンバル。²たとえ私が、預言する力を持ち、あらゆる^a秘義とあらゆる知識に通じていても、また、山を移すほどの信仰を持っていても、愛がなければ、無に等しい。³また、全財産を人に分け与えても、^b焼かれるためにわが身を引き渡しても、愛がなければ、私には何の益もない。

⁴愛は忍耐強い。愛は情け深い。^{ねた}妬まない。愛は自慢せず、高ぶらない。⁵礼を失せず、自分の利益を求めず、怒らず、悪を^cたくらまない。⁶不正を喜ばず、真理を共に喜ぶ。⁷すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

⁸愛は決して滅びません。しかし、^{すた}預言は廃れ、異言はやみ、知識も廃れます。⁹私たちの知識は一部分であり、預言も一部分だからです。¹⁰完全なものが来たときには、部分的なものは廃れます。¹¹^{おきなご}幼子だったとき、私は幼子のように話し、幼子のように思い、幼子のように考えていました。大人になったとき、幼子のような在り方はやめました。¹²私たちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ますが、その時には、顔と顔とを合わせて見ることになります。私は、今は一部分しか知りませんが、その時には、私が^d神にはっきり知られているように、はっきり知ることになります。¹³それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です。

(脚注 a:あるいは「神秘」、

b:異本による。ギリシャ語底本では「誇るために」、

c:別訳「教えない」「思わない、d:「神に」は補足)

《先週のメッセージより》2022年9月4日

「くすぶる灯心の火を消さず」より

牛田匡牧師

聖書 マルコによる福音書 12章1-12節

今回のお話は、ぶどう園の主人と農夫たちのたとえ話でした。当時のガリラヤの農民たちは、重税に苦しめられ、先祖伝来の土地を借金の抵当として奪われた人々が多くいました。この話に登場する主人とは、農夫たちから土地を取り上げ、それらを合わせて大きなぶどう園を作り、そこで小作人たちを働かせていた農場主でした。彼らは農園や領地を各地に所有する「不在地主」として、それぞれの場所を時々見回りました。さて収穫の季節になり、主人は収穫物の取り立てに僕を送りますが、小作人たちによって暴力を振るわれて追い返されます。それが3回以上も繰り返された後、最後に主人は息子を送りますが、その息子も殺されてしまいました。これは小作人たちによる衝撃的な事件の話ですが、実際、貧困と格差にあえぐ当時の農民たちによる抵抗事件は、各地で起こり、そのたび武力によって鎮圧されていました。ですから、聞き手たちはそのような暴力的手段が解決をもたらさないことも、よく分かっていたに違いありません。それにもかかわらず、このイエス様のたとえ話は、聞いた人々の心に残り、福音書に書き記されました。何故でしょうか。

聖書の中には、公正な社会を確立するのは、力強く立派で、声の大きい人ではなく、むしろその逆で今にも折れそうで、火が消えそうで、押しつぶされそうになっている人によってだと言われています（イザヤ42：2-4）。折れそうでも折れず、消えそうでも消えず、押しつぶされそうでも押しつぶされないことによって、神の御心は実現される。「神様の力は弱さの中で完全に現れる」（2コリント12：9）という不思議な現実が確かにある、ということ、古代の預言者も、イエス様も、そして歴代の教会の人たちも、身をもって示してきたのではないかと思います。またイエス様は「体は殺しても、命（魂・自分自身そのもの）を殺すことのできない者どもを恐れるな」（マタイ10：28）とも言われています。イエス様の言葉を聞いた貧しい群衆たちは、主人から様々な苦しみを受けても、自分たちの抵抗の魂は決して消えない。暴力に対して暴力で抵抗することはできなくても、神様が共にいて自分たちの命、尊厳、生活を守り生きていく道が、どこに見出せるはずだというメッセージを受け取ったのではないのでしょうか。

現代を生きている私たちもなお、多くの課題の中にあります。それでもなお決して絶望するのではなく、共に活かし合う道を諦めることなく探し続けること。たとえ、ろうそくの火は今にもくすぶって消えそうであったとしても、それでもなおその「くすぶる灯心の火」を消さないようにして灯し続けること。そこに神様の力が働き、私たちは導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 9月4日

主日礼拝出席 大人3名 子ども1名 中継動画再生数 14回
 献金 大人3,000円 子ども1,000円 感謝

◎次週 2022年9月18日(日) 敬老の日礼拝(聖霊降臨節第16主日礼拝)

聖書 ルカによる福音書 17章20-21節
 メッセージ 「愛(I)は間に」岡嶋千宙伝道師
 賛美歌 54-30番(©JASRAC)、54-312番(©讚美歌編集委員会)、
 54-321(©P.D.)、21-171番(©あかし書房)

柏原市にあります特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」と「第二好意の庭」と ZOOM で接続し、それぞれの入居者の方々と一緒に礼拝を行います。ZOOM の画面は中継できませんが、その礼拝の様子を Facebook で中継配信いたします。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、8・9月期の「教会を考える会」を予定しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第7波」が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・9月18日(日)14時から16時半にかけて、小阪教会にて感染対策に留意しながら、河内地区合同壮年会が対面形式で行われます。テーマは「with コロナ時代における教会活動を考える」で、開会礼拝(司式:中西牧師)の後、討議と各教会からの近況報告等があります。ご参加をご希望の方は、牧師までお知らせください。
- ・9月23日(金)~24日(土)にかけて1泊2日で、日本クリスチャン・アカデミー・関西セミナーハウスにて「人類と福祉——その淵源を探る」(講師:月本昭男さん)と題するフォーラムが開催されます。参加費は1泊2食込14,000円。学生は半額の7,000円。参加ご希望の方は9月16日(金)までにお申し込みください。電話075-701-2117

<https://www.academy-kansai.org/application/>



(右のQRコードからも申込できます)

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/18	岡嶋伝道師	敬老の日礼拝・聖書を読む会? (14時~、河内地区壮年会@小阪教会)
9/25	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
10/2	水谷牧師	ユーカリスト
10/9	牛田牧師	教会を考える会

日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

2022年度 修学院フォーラム「いのち」第2回

人類と福祉——その淵源を探る

講師: 月本 昭男 (古代オリエント博物館長)

人類は21世紀になつてなお戦争を止めません。動物の社会でも、高等動物になればなるほど、群れ同士の戦いが頻繁に観察されます。人類は、その一方で、身体の障がいのため、あるいは生産手段をもたないために、社会的に弱い立場におかれた仲間を保護する社会を築いてきました。それは動物の社会では観察されない、人類社会に特有の現象です。ならば、人類はいつのころから弱い立場にある仲間を大切にしてきたのでしょうか。

このセミナーでは、はじめに、21世紀になつて注目されはじめた先史時代の「福祉」の痕跡について紹介するとともに、文明発祥の地といわれる古代オリエントの文書資料に残る社会的弱者保護の実態を探ります。次に、古代オリエントの一隅に歴史を刻んだイスラエルの民が、後のユダヤ教、キリスト教、イスラム教に大きな影響を与えた旧約聖書に伝わる社会倫理を「福祉」という視点から考えてみましょう。最後に、そのような社会福祉を内から支える共感・同情といった、私たちの誰しもがもつ感情について、ともに想いをめぐらしてみようではありませんか。

日 時 2022年 **9月23日(金・祝)**14:00~**24日(土)**11:20
 会 場 関西セミナーハウス(宿泊は、1室1名(ご家族は1室複数名可能)) [関西圏内]
 参加費 14,000円 学生7,000円 [1泊2食込、京都市宿泊税200円別途]

月本 昭男 つきもと あきお

1948年、長野県に生まれる。新島学園高等学校(安中)、東京大学、ドイツ・フューリンゲン大学に学ぶ。専攻分野は旧約聖書、古代オリエント、人類宗教史。立教大学(1981~2014年)、上智大学(2014~2022年)で旧約聖書、古代イスラエル史、聖書考古学などを教える。現在、古代オリエント博物館館長、立教大学・上智大学名誉教授。

著書:『目で見る聖書の時代』(日本キリスト教団出版局)、『古代メソポタミアの神話と儀礼』(岩波書店)、『旧約聖書に見るユーマとアロニー』(教文館)、『詩篇の思想と信仰I-VI』(新教出版社)、『物語としての旧約聖書(上・下)』(NHK出版)、『見えない神を信ずる』(日本キリスト教団出版局)など。

訳書:『ギルガメシュ叙事詩』、『創世記』、『エゼキエル書』(いずれも岩波書店)など。

経堂聖書会所属 <http://www.kyodo-seisyokai.sakura.ne.jp/>

要申込み 9月16日(金)までに WEB フォーム、Fax(直面)、電子メール、電話等でお申し込みください。